



於福小だより

平成31年 2月号

美祿市立於福小学校



決めるのは自分 責任をとるのも自分

校長 西村 慶代

「一月はいく 二月は逃げる 三月は去る」とは、よく言ったものです。

3学期が始まったかと思ったら、あっという間に2月が過ぎようとしています。

今年は、昨年と異なり、暖冬と言わんばかりの天候が日々続いています。雪遊びを楽しみにしていた子どもたちも、今シーズンは諦めているのではないのでしょうか。

17日(日)に地域の有志の方、保護者有志の方、教職員有志がわんぱく山の手入れをして、足元がきれいになりました。早速次の週から子どもたちは中休みや昼休みになると、わんぱく山に登り、秘密基地を修理したり、新しい基地をつくったり、芽生えはじめている木々を楽しんだり、その子なりの楽しみを求めています。

年度末が近づくにつれ、希望と期待で胸を膨らませる反面、未知の世界への不安から、ナイーブな言動や後ろ向きな言動が出てくることもあります。

進級、進学までの残り僅かな時間を、どう過ごすか、自分にできることを精一杯取り組むのか、残り僅かだからと、適当に過ごすのかは、本人が決めることです。そして、大切なことは、その責任をとるのは、とらなければならないのは、誰でもない、自分だということです。やもすると、本当は自分が決定したのに、「〇〇さんに言われたから…」、「〇〇さんもそうしていたから…」などと、責任転嫁をしまいがちになるのは、私たちの弱い心です。うまくいかなかったときに、人のせいにするのではなく、自身を振り返って見つめることができる人は、大きく成長できるのではないのでしょうか。

人に勧められることがあるかもしれませんが。人がやっているのを見て、やってみたくなるかもしれません。自分がイライラしていたために、つい、とってしまった言動かもしれません。しかし、それは、最終的に自分が決めたこと、責任は自分にあるのだということがわかるようになってほしいと思います。そして、その責任の重さが「つい…」の言動の抑止力になり、更に磨き合える学級、学校、人間関係になってほしいものだと、いつも自身に言い聞かせています。

自分の人生

自分の人生を 自分でこわすようなことだけは してくれるな

自分の人生を 自分で汚すようなことだけは してくれるな

わたしたちの心の中には いろいろな美しい宝ものがしまっている

でも それを掘り出せないようにする悪魔も たくさん住んでいる

それらが

わたしたちを怠けさせようとしたり がんばりを忘れさせようとしたりする

でも それに 負けては だめ

「いのちの言葉」東井義雄一日一言(致知出版社)より

「特別の教科 道徳」の実施

これまで道徳は教科外の活動でしたが、小学校では今年度から教科としてスタートしました。そもそも道徳が教科になったのは、なぜでしょうか。教科になって、道徳の授業はどう変わるのでしょうか。概要について説明します。

○ 「特別の教科 道徳」には、どうして「特別」とついているのですか？

「教科」と異なるところがあるからです。「教科」では、専門免許が必要ですが、「特別の教科 道徳」では、専門免許は設けず、原則として学級担任が指導します。また、数値等での評価は行わず、文章での評価となります。しかし、検定教科書を使うことに関しては、他の教科と同様となります。

○ 道徳が教科化した背景は？

深刻ないじめ自殺問題を発端に、その対策の1つとして「道徳教育を教科として位置づける」ことが教育再生実行会議の提言に盛り込まれました。道徳が教科になった理由として、他教科に比べて「道徳の時間」が軽視されがちであったことなども、小学校学習指導要領解説には書かれています。道徳教育をもっと実のあるもの、効果的なものにしていこう、という声があがり、それが教科化に結びつきました。

○ 道徳の授業は、どう変わったのですか？

従来の「道徳の時間」では、読み物の登場人物の心情理解のみに偏りがちな授業が行われる風潮がありました。もっと道徳教育を効果的なものに変えていきたい。そこで、教科化にあたって文部科学省が考えたのが、「考え、議論する道徳」というキャッチフレーズです。教え込む授業ではない、子どもたち自身が道徳的な価値を「考え、議論する道徳」の授業へと変わることをめざしています。

○ 子どもたちに何を身に付けることを目標としているのですか？

一言でいえば、子どもたちの「道徳性」を養うことを目標としています。小学校学習指導要領には、道徳教育は「自己の生き方を考え、主体的な

判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする」とあります。例えば、小学校低学年では、人の気持ちを考えさせ、「してもよいことと、してはならないことがあるよ」などの基本を指導する道徳の授業が行われます。そのうえで、道徳的な価値を自分のこととして考えるための「考え、議論する道徳」を展開していくこととなります。

○ どのような評価方法になりますか？

数値ではなく、記述式評価で行います。他者との比較ではなく、「児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価する」と小学校学習指導要領に示されています。

（「総合教育技術」高瀬康志記者のインタビューより一部引用）

これらを踏まえ、学校では、道徳の授業参観をはじめ、校内研修等を通して「考え、議論する道徳」の授業づくりについて日々、研修を重ねています。今後も、道徳教育について家庭や地域から理解と協力が得られるよう全力で取り組んでいきたいと思えます。

3月		3月の行事予定	
1日	金	ワックスかけ 安全点検	□座振替
4日	月	体重測定（上学年）	
5日	火	体重測定（下学年）	委員会活動
6日	水	職員会議	
7日	木	PTA常任委員会	
11日	月	バイキング給食	
12日	火	代表委員会	
13日	水	ベルマーク収集	
14日	木	卒業式予行	
19日	火	卒業式前日準備	6年給食終了
20日	水	第72回卒業証書授与式	
21日	木	（祝）春分の日	
22日	金	第4回学校運営協議会	
25日	月	給食終了	
26日	火	修了式 職員会議	
28日	木	PTA等会計監査	
29日	金	離任式	

